

関西経済界と関西広域連合との意見交換会（概要）

平成 25 年 2 月 9 日
関西広域連合本部

○日 時：平成 25 年 1 月 24 日（木） 12：15～14：12

○場 所：大阪府立国際会議場 10F 1001-2 会議室

○出席者：

（関西広域連合）井戸連合長、仁坂副連合長、嘉田委員、山田委員、松井委員、平井委員、飯泉委員、門川委員、竹山委員、久元副委員

（関西経済連合会）森会長、寺田副会長、山口副会長、森下副会長、松下副会長、大坪副会長、岡本副会長、松本副会長、角副会長、沖原副会長

（大阪商工会議所）佐藤会頭、西村副会頭、小嶋副会頭、古川副会頭、倉持副会頭

（京都商工会議所）立石会頭

（神戸商工会議所）大橋会頭

（堺商工会議所）前田会頭

（関西経済同友会）大林代表幹事

○議事概要

1 各団体の意見と主な委員の発言

① 関西経済連合会（森会長）

- ・広域連合は地域をまたがる課題に対し積極的に取り組んでいただいております、心強い。我々もバックアップしたい。
- ・総合特区における事務局体制の一元化に取り組んでいきたい。

② 大阪商工会議所（佐藤会頭）

- ・広域連合は国に任さず関西の集客目標を立てて大胆な政策、例えばある年を 1 つの県に焦点を当てる年とするなどを推進いただきたい。
 - ・優秀なシーズマネーへのベンチャーキャピタルを作り出すことが課題である。
- ⇒関西のまとまりも未だ 2 年目、観光・文化振興計画を作り、関西として年間 1,000 万の集客目標を掲げ行動を始めている。その戦略に沿って、まずは関西を売り込むことを行っており、関西の強みを生かすステージへとあげていきたい。（山田委員）

③ 京都商工会議所（立石会頭）

- ・観光・文化や産業はより一層の見える化を進めてほしい。また自治体の固有の事務と広域連合事務を分けながら関西広域の底上げを図ってほしい。
 - ・地域主権の実現を目指した道州制について関西広域連合として明確な方針を示した上で積極的に推進すべきである。
- ⇒府県民や市町村の皆さんに我々の活動を知っていただけるよう相当意思疎通をして理解が得られるよう取り組んでいきたい。また、道州制については、広域連合がそのまま道州制に移行することはない。今後国の総合出先機関のような道州制にならないためにも、政府が検討を進める道州制について、課題・問題点等を提示していきたい。（井戸連合長）

④ 神戸商工会議所（大橋会頭）

- ・イノベーション特区推進に向け、国に対してスピード感を持った規制緩和を求めてほしい。
 - ・エネルギー対策について、国に対して電力の安定供給や安全性が確認された原発の再稼働を求めるようお願いする。
- ⇒国に対してスピード感を持った規制緩和を働きかけていく。また、原子力規制委員会での基準策定及び審査も早く取り組むよう引き続き働きかけていく。（井戸連合長）

⑤ 堺商工会議所（前田会頭）

- ・基礎自治体である市町村の意見を反映した分権型統治機構の確立を目指してもらいたい。
- ・中小企業の海外進出支援や人材育成への対策をお願いしたい。

⇒中小企業の世界化は各府県市それぞれで対応しているが、さらに広域連合の対応としてどんなことがあるのか考えたい。(井戸連合長)

⇒国内の高度人材の育成とともに、海外からの高度人材の受け入れに対応できるような土壌づくりが大事である。(竹山委員)

⑥ 関西経済同友会 (大林代表幹事)

- ・関西の文化観光の起爆剤となるカジノを含めた統合型リゾートの実現に向けて応援してほしい。
- ・経済波及効果の大きいワールドマスターズゲームズ(2021年)を誘致してほしい。

⇒カジノは大阪府と大阪市に任せたい。ワールドマスターズゲームズは早々に諮っていききたい。(井戸連合長)

⇒大阪府市としては、これからの産業構造を考え、新しい可能性のあるツールとして統合型リゾートを是非大阪に作っていききたい。(松井委員)

⇒ワールドマスターズゲームズは賛成であり、広域連合内で議論させていただく。(山田委員)

⑦ 関西経済連合会 (沖原副会長)

- ・首都機能バックアップの構築について具体的提言をしたいと考えており、是非この場で関西のコンセンサスを得たい。
- ・ミッシングリンク解消と港湾整備に取り組んでほしい。

⇒首都機能バックアップの最適地は関西であり、国に対して理解を求める。また、関西全体のインフラ整備としてミッシングリンクの解消など取組みを進める。(井戸連合長)

2 その他意見と主な委員の発言

① 食博覧会等について (小嶋副会頭)

- ・食博で実施するプロの料理人のコンテストに広域連合の賞も作りたい。
- ・リニアモーターカーは国民的財産であり関西まで同時着工すべき。

⇒プロ料理人のコンテストに対して自治体の賞を出すことは積極的に検討する。(井戸連合長)

⇒日本全体の発展のためにも関西までの同時着工と関空へのアクセスなど経済効果を考慮したコースを見直すべきと考える。(門川委員)

② 関西ブランドについて (寺田副会長)

- ・関経連では「はなやか関西」を進めている。是非広域連合でブランド統一をして「はなやか関西」を活用いただきたい。

⇒「はなやか関西」も検討の上、取り組みたい。(井戸連合長)

③ 産業振興について (森下副会長)

- ・産業振興では各府県の資源を活用できるよう、調整機能を持ったプラットフォームを作ってもらいたい。また、関西の中で産業を育てるために高度人材育成の取組みを進めていただきたい。

⇒地域の特性を生かした産業振興に結び付けていききたいと考えている。(井戸連合長)

以上